

自殺予防普及啓発事業

大人は、みんな、十四歳だった。
人は弱いから、強くなろうとする。
でも、強くなつて、ならなくていい。頑張るだけで、いいんだ。
今より少しでも、人の気持ちを想像するだけでいいんだ。

青い鳥

原作 重松清
主演 阿部寛

入場無料

全席自由席

すべての中学生と、かつて中学生だったあなたに贈る、
男性教師が本気の言葉で生徒たちと向かい合う物語

日時 令和5年 9月3日 日

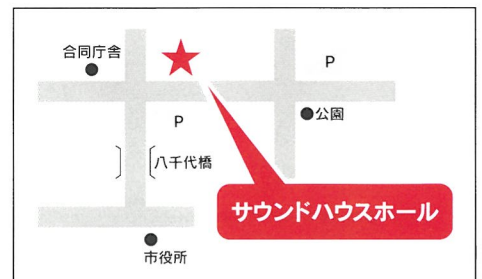
① 10:30 ② 14:00 (上映時間1時間45分)

日本語字幕あり

場所 サウンドハウスホール

小松島市小松島町字新港9-10

主催 小松島市



お問い合わせ先

保健センター

TEL:0885-32-3551

FAX:0885-32-4145

あなたのなかの十四歳に、沁みる物語。

直木賞受賞作家 重松清の人気短編集「青い鳥」から生まれた、
臨時教師 村内先生の人的魅力は、
多くの読者から大きな反響と静かな感動を呼びました。



未来は、変えられる。
子供たちが将来に夢を持つ。そんな世の中は、きっと、つくれる。
大人たちがいままでの罪と向き合い、未来の糧にできるのなら。
すべての中学生と、かつて中学生だったあなたに贈る――。



前学期、いじめられた一人の男子生徒 野口が起こした自殺未遂で東ヶ丘中学校は大きく揺れていた。新学期初日、そんな2年1組に一人の臨時教師が着任してくる。
村内という男性教師の挨拶に、生徒たちは驚く。
彼は吃音だったのだ。
うまくしゃべれない村内はその分“本気の言葉”で生徒たちと向かい合う。
そんな彼が初めて生徒たちに命じたのは、野口の机と椅子を元の位置に戻すことだった。そして毎朝、その席に向かって「野口君おはよう」と声をかけ続けた…

教育の現場だけに止まらない問題に向けた、それを抱えた日本に向けた本気の言葉も見逃せない。
反省文ひとつで簡単に忘れてしまえる罪、責任。
その先には並んで頭を下げるだけで凡てをないことにしたいくつもの事件、
いくつもの戦争が浮かんでこないだろうか。
大切なことを伝えるための技を研いて映画はそこに映画ならではの独自の世界を強かに差し出している。

映画評論家・川口敦子

阿部寛の子供たちを見つめる無条件にやさしい眼差しが、原作とは一味違った村内先生像を作り上げています。
本郷奏多は繊細な演技で思春期の少年を好演。新鋭女性シンガーソングライターのまきちゃんぐが歌う主題歌がいつまでも耳に残ります。



青い鳥

阿部 寛 本郷奏多・伊藤 歩
太 賀 荒井 萌 篠原愛実 高田里穂 山崎和也 新木優子 井上 肇 岸 博之 重松 収

原作:重松 清「青い鳥」(新潮社刊) 青い鳥の解釈 脚本:飯田健三郎/長谷川康夫 監督:中西健二
主題歌:まきちゃんぐ(オープニング・テーマ「鋼の心」 エンディング・テーマ「きなき〜青い鳥」ヴァージョン) ©cp 協力:ヤマハミュージックアーティスト
2008年/11.85ピスタ/カラー/ドルビーSR/1時間45分 製作:バンダイビジュアル+日楽堂+デスティニー 配給:日活+アニプラネット
©2008「青い鳥」製作委員会 文部科学省 特別選定(少年向き、青年向き、成人向き)/選定(家庭向き)

www.aoitri-movie.com

日時 令和5年 9月3日 日

① 10:30 ② 14:00 (上映時間1時間45分)

日本語字幕あり

入場無料

全席自由席

場所 サウンドハウスホール ・満席の場合に入場をお断りすることがあります。ご了承ください。